



令和6年能登半島地震により、 被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

2024年1月1日午後4時過ぎ、石川県全域が大きく揺れました。私は、すぐにテーブルの下へ身をかがめました。人生で最も大きな横揺れです。これはただ事ではないと思い、テレビをつけると、「能登半島で震度7強の地震発生」のテロップが流れています。

その後の被災状況はテレビや新聞でご存じの通りです。未だに復旧してない所が沢山あります。特に道路状況と水道施設が酷い。YouTubeで見る各地の被災状況には目を覆うばかりです。

私は50年前に県立穴水高校に新採の教員として赴任しました。すぐに、その時の同僚や生徒の安否が気になりました。3～4人の方とメッセージ交換できましたが、自宅も地域も学校も大変なことになっているとのことでした。何かできることはないだろうかと考えましたが、不通となっている道路が多く、能登へ行くことができないらしいと知りました。未だに連絡を取ってない方も沢山あります。無事を祈るばかりです。

私は穴水高校前バス停付近の官舎を借りていました。その官舎の上にあった家が崖崩れにあった方の自宅です。10人の家族が犠牲になってしまいました。自分事のように辛い思いでテレビ画面を見ていました。犠牲になったのは、あの時官舎の横を駆け下りていた親子だったのだろう、と50年前の情景が目には浮かびます。

曾々木の「窓岩」が完全に崩れてしまった。「見附島」も崩れた。懐かしく思い出深い、能登を代表する2つの風景がなくなってしまった。初任の夏休みに、3年生がクラス合

宿していた2ヶ所です。この合宿に自転車で訪ねたことが昨日のように頭に浮かびます。50年後の今年の夏に、能登半島を歩こうと計画していたので、とても無念だ！

今の仕事では、能登エリアの学校を訪ねることが多々あります。昨年6月の地震の後に珠洲市の全小中学校を訪問しました。珠洲エリアを知っているがゆえに、本当に生活が成り立つのだろうか、復興できるのだろうか。多くの困難があること、復旧も復興もそんなに簡単ではないことがよく分かります。学校はどうなるのかしら。まだまだ、先が見通せる状況ではないようです。そして、私は何が出来るのだろうか？（1月15日記述）

（公財）日教弘石川支部は、学校応援の法人です。微力ながら、何らかの形で能登エリアの学校を永く支援していこうと考えております。

また、規約に則り、日教弘本部への義援金申請をしておりますので、3月には石川県へ義援金をお持ちできると思います。（支部長）



（窓岩）



（見附島）

「8年間お世話になりました」

（公財）日本教育公務員弘済会石川支部（以下、日教弘という）の支部長に就任してから8年が経ちました。

8年前、日教弘のことが何も分からないなか、前支部長・専任幹事・職員や東海北陸ブロック及び日教弘本部の皆さんに支えられながら、これまで務めることができました。本当に感謝の一言です。公益財団法人の独立性や個人情報保護の観点から、日教弘石川支部の組織改編と運営の8年間でした。

お陰様で、ようやく近隣県支部の足元にたどり着くことができました。また、次へつながる役職員にも来ていただきましたので、私の使命は果たせたのかなと思います。私は2023年度末（2024年3月末日）をもって、日教弘石川支部の支部長を退任します。これまで石川県の教育関係者の皆様には大変お世話になりました。感謝いたします。今後も、日教弘石川支部へのご協力を切にお願いいたします。

（支部長 寺西一栄）

■ 2024年度学校教育活動助成のこと

2024年度教育振興事業の「学校教育活動助成」はテント40張りのみとなります。

令和6年能登半島地震災害において、正院小学校の避難所に使用されていることをテレビで見ました。学校教育以外にも、緊急用のテントとして使用できることを重要視しての判断です。これまでの、1校8万円～10万円の学校教育活動助成については、2024年度お休みさせていただきます。

なお、募集要項・申請書は日教弘石川支部HP(2024年4月1日以降)からダウンロードしてください。

※当会のテント助成を受けたことのない学校が対象です。



■ 2024年度「健康増進補助」について

福祉対象者(教弘保険加入者)の「健康増進補助」については、次のように変更となりますので、該当の教職員の皆様はご注意ください。

- ・福祉対象者:2024年4月2日～2025年4月1日に61歳になる教弘保険加入者
- ・該当ドック:人間ドックまたは脳ドック検診
- ・要件:受診時と申請時に教弘保険に加入していること
- ・補助額:本人が負担した金額(上限10,000円)
- ・申請等:1回限りの申請(要領収書)
- ・申請期間:2024年4月1日～2025年3月31日(厳守)

※ご案内と申請書は2月下旬～3月上旬に学校へ送付します。



■ 2024年度事業の変更について

ただ今、2024年度の弘済会石川支部事業(教育振興事業、福祉事業)の見直しを行っております。ご存じのとおり、日教弘の各事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されていますので、配当金の増減により事業予算も増減することになります。

また、1月1日の能登半島地震の影響により、事業の変更や予算の見直しも考えなければいけなくなっております。

弘済会石川支部では、今まで以上に教弘保険加入者への福祉事業の拡充を考えております。教弘保険加入者をご満足いただける福祉事業を検討中です。

また、内閣府の指示により、各教育振興事業の募集要項がかなり詳細になります。これまでよりも厳格な申請書・成果報告になる場合もありますので、2024年度当初の募集要項等にご留意願います。募集要項等はHPに掲載します。

■ 領収書は大事だよ！

領収書のことです。大変重要なことなので、再度書きます。

2023年度の福祉事業の「研究図書補助」と「インフルエンザ予防接種補助」及び「健康増進補助」の申請時には領収書が必要でしたが、申請された領収書に不備が多く見受けられました。領収書に記載されているべき必要事項は決まっております。一度ネットで調べてみてください。

また、研究図書補助については納品書や請求書は領収書の代わりにはできません。ネット購入の場合には、領収書の発行がされるのかを事前に必ずお確かめください。

お金の支払いには、領収書は必須です。顧問税理士からも強く指摘を受けております。昨年の10月からはインボイス制度が始まり、なおさら必要になりました。2024年度もこれら3つの福祉補助を継続しますので、領収書やレシートの保管を切にお願いします。

■ 2024年度「教育図書贈呈」のこと

2024年度教育振興事業の教育文化事業として、「教育図書の贈呈」を県内小学校・特別支援学校小学部108校(2021年度対象校の108校)に実施する予定でしたが、能登半島地震の影響により能登エリアの被災された学校への寄贈が困難だろうと推測されます。

そこで、被災されなかった加賀エリアの学校(2022年度対象校)から一部入れ替えも考えております。対象校については4月当初のHPに掲載します。なお、能登エリアの学校については、寄贈困難の場合には、各学校と相談しながら2025年度以降の対象となります。

■ 石川支部ホームページについて

2023年度には、ホームページへの問い合わせが沢山ありました。原因は、日教弘本部の石川支部HPと弘済会石川支部独自のHPの2つがあることです。そこで検討した結果、日教弘本部の石川支部HP(<https://www.nikkyoko.or.jp/company/ishikawa/index.html>)に統一する運びとなりました。一部廃止せざるを得ない項目もありますが、より詳細な情報を載せられると思っておりますので、よろしくお願いします。



◆ 福祉給付のお忘れはございませんか？

2023年度も残すところ1ヶ月となりました。福祉対象者(教弘保険加入者)の方で、福祉給付(結婚祝金、出産祝金、入学祝金)の申請がございましたら、急いで申請書の提出をお願いします。詳細は、石川支部のHPで確認ください。特に、入学祝金の締め切りは、年度内の3月中旬です。

